

【報道関係各位】

2014年 就職活動に関する調査

**エントリー数平均は 34 社。昨年より 4 社少なく、
不安度も下がるなどやや楽観傾向の就活生
ブラック企業は“自分の目で集めた情報で判断する”が 66%**

2014年 3月 6日
株式会社マクロミル
(証券コード:東証一部 3730)

株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：杉本哲哉）は、1都6県に住む就職活動中の大学3年生と大学院1年生を対象に、今回で3回目となる「就職活動に関する調査」を実施しました。

調査手法はインターネットリサーチ、調査期間は2014年2月18日(火)～2014年2月22日(土)、300名から回答を得ました。

【調査結果概要】

- 【1】 就職を意識し始めた時期、大学3年の春以降が7割弱、「大学入学してすぐ」も8%
- 【2】 企業エントリー数の平均は33.5社。昨年より4.2社減る
- 【3】 9割近い学生が就活において悩んでいる
- 【4】 就活の悩み、8割以上が「漠然とした不安や焦り」「アピールポイントがない」(47%)なども
- 【5】 「3年後」は3人に1人、「5年後」は5人に1人しか描けていない将来ビジョン3年後さえも描けていない学生が過半数
- 【6】 就活で自分は有利と感じること、1位「学歴」、2位「容姿」、3位「出身地」不利と感じる1位「自分の経済力」、2位「学歴」、3位「容姿」
- 【7】 ネット上の“ブラック企業”の噂、「説明会や面接などで情報収集して自己判断」が66%
- 【8】 就活でソーシャルメディアを活用しているのは29%
利用している1位は「Twitter」、2位は「Facebook」、3位は「LINE」

<サイトURL>

http://www.macromill.com/r_data/20140306shukatsu/

「2014年 就職活動に関する調査」

【調査結果詳細】

■ 調査概要

調査方法:	インターネットリサーチ
調査地域:	茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
調査対象:	大学3年生・大学院1年生で就職活動中の方（マクロミルモニタ会員）
有効回答数:	合計 300 サンプル（男性 150 サンプル、女性 150 サンプル）
調査日時:	2014年2月18日(火)～2014年2月22日(土)
調査機関:	株式会社マクロミル

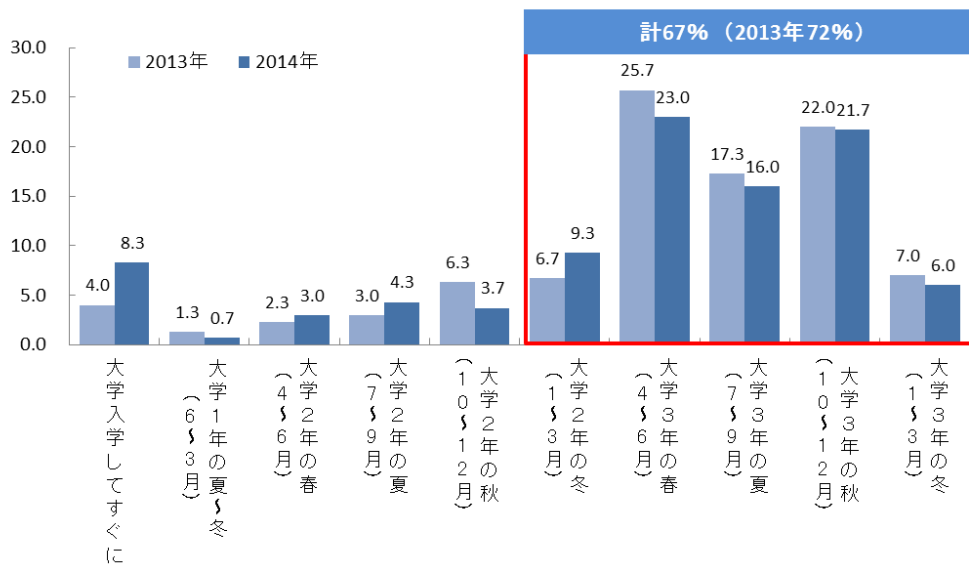
■ 就職を意識し始めた時期、大学3年生の春以降が7割弱。「大学入学してすぐ」も8%

現在、就職活動中の1都6県に住む大学3年生と大学院1年生に就職を意識し始めた時期を尋ねたところ、「大学3年生の春(4～6月)」が最多で23%でした。大学3年生の春以降に意識し始める人が多い傾向は昨年から変わらず、全体の7割弱を占めました。

一方で、「大学入学してすぐに」という人も8.3%おり、昨年の4%から倍以上に増えました。【図1】

【図1】

就職を意識し始めた時期 (n=300)
Q.あなたが就職を意識し始めた時期はいつごろですか？(単一回答)



■ 企業エントリー数の平均は 33.5 社。昨年より 4.2 社減る

2 月下旬時点での企業へのエントリー数は何社か尋ねたところ、平均で 33.5 社と、昨年よりも 4.2 社減少しました。100 社以上エントリーしている人が全体の 6%おり、最も多い人では 170 社という回答もありました。

男女別では、男性は平均 30.2 社、女性は平均 36.7 社と女性のほうが 6.5 社多くなっています。【図 2】

【図 2】

企業へのエントリー数 (n=300)
あなたは何社にエントリーしましたか？(自由回答)

エントリー数	全体平均	33.5 社 (昨年 37.7 社)
	男性平均	30.2 社 (昨年 36.2 社)
	女性平均	36.7 社 (昨年 39.2 社)

■ 9 割近い学生が就活に悩んでいる

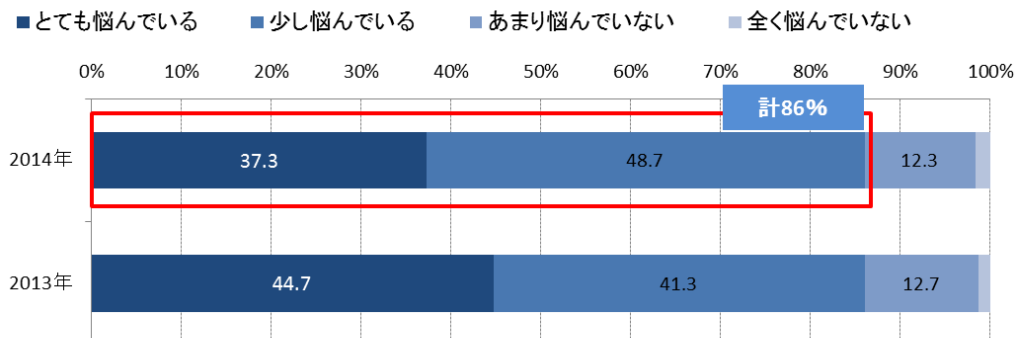
就職活動での悩みの度合いを尋ねたところ「とても悩んでいる」「少し悩んでいる」を合わせて 86%にのびりました。

昨年とほぼ変わらないスコアですが、「とても悩んでいる」に限ると、昨年は 47%、今年は 37%と 10 ポイント減少しており、景気などの影響を受けてか、昨年よりも悩みの度合いは薄まっているのかもしれませんが。

【図 3】

【図 3】

就職活動での悩みの有無 (n=300)
Q.就職活動において、どの程度悩んでいますか。(単一回答)



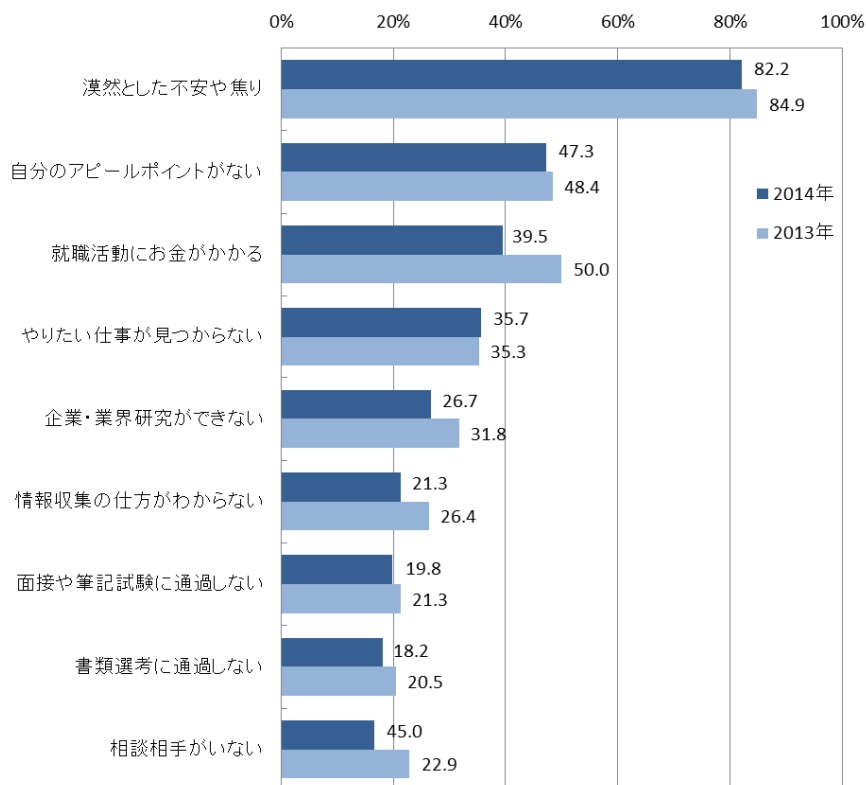
■ 就活の悩み、8割以上が「漠然とした不安や焦り」。「アピールポイントがない」47%なども

就職活動で「(とても+少し)悩んでいる」と答えた人に、何が悩みかを聞いたところ、ダントツで多かったのは「漠然とした不安や焦り」で82%でした。次いで「自分のアピールポイントがない」47%、「就職活動にお金がかかる」40%、「やりたい仕事が見つからない」36%などが上位に続きました。

総じて昨年と同じ傾向ですが、「就職活動にお金がかかる」のスコアは10ポイント以上減っており、経済的な悩みは昨年よりも少し改善されているようです。【図4】

【図4】

就職活動における悩み (n=258)
Q.あなたの、就職活動における悩みは何ですか。すべてお答えください。
(ベース:就職活動において「とても+やや」悩んでいる」と回答した258人/複数回答)



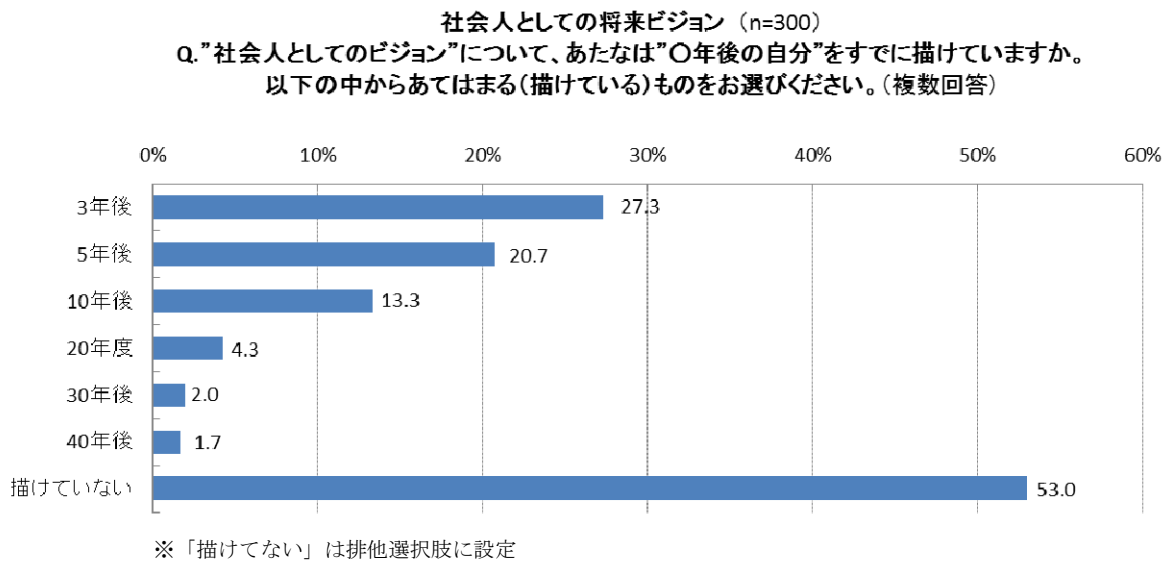
■ 「3年後」は3人に1人、「5年後」は5人に1人しか描けていない、将来ビジョン。
3年後さえも描けていない人が過半数

社会人として「〇年後」の将来ビジョンを描けているかを聞いたところ、「3年後」では27%、「5年後」では21%、「10年後」では13%が描けていると回答しました。

一方、「描けていない」と回答した人が53%と全体の過半数を占めており、将来ビジョンを描けていない、あるいは描けていても3年後などのごく近い将来までという就活生が大半である様子がうかがえます。【図5】

前問【図4】で聞いた就職活動における不安で最も多かった「漠然とした不安や焦り」は将来ビジョンが描けていない、あるいは描きづらいこととも関わりがあるのかもしれませんが。

【図5】

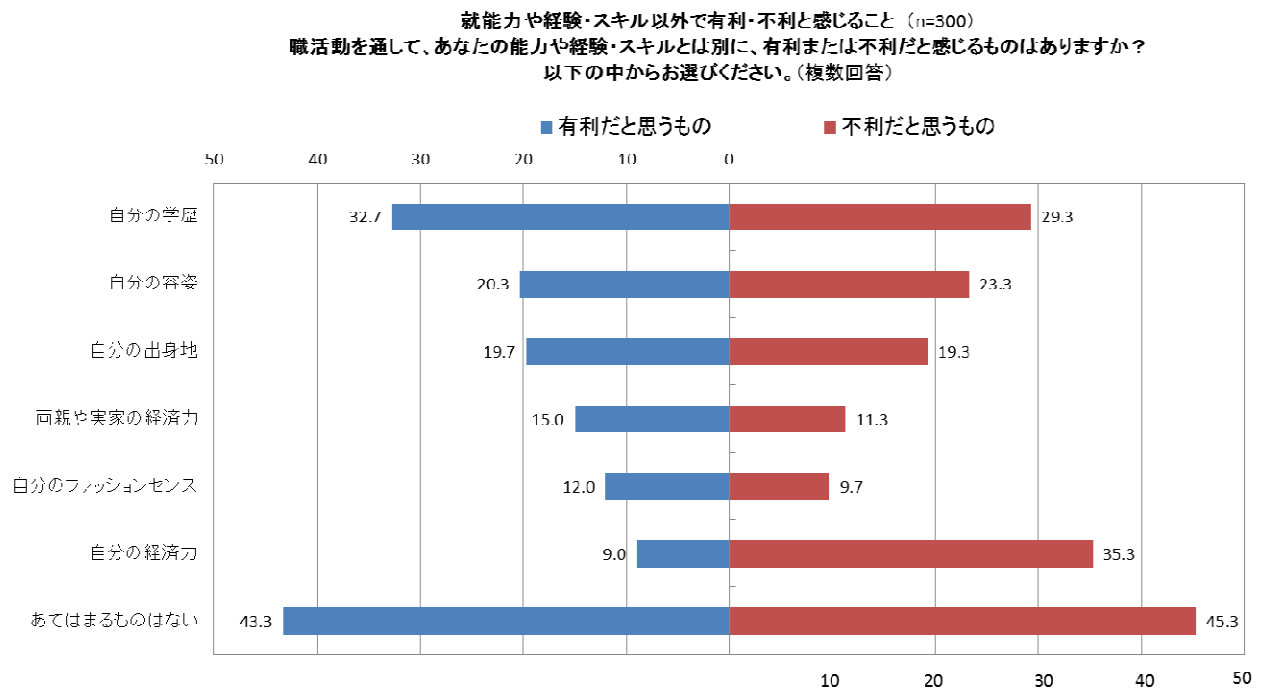


■ 就活で有利と感じる経験・スキル以外のこと、1位「学歴」、2位「容姿」、3位「出身地」。
不利と感じる1位「自分の経済力」、2位「学歴」、3位「容姿」

就職活動を通して、自分の経験やスキル以外のことで有利または不利と感じることがあるかを尋ねたところ、有利と感じている人が最も多かったのは「自分の学歴」で33%でした。反対に29%の人が不利だとも感じており、やはり学歴は最も多くの人がいずれかの影響を感じるものであるようです。

一方、不利と感じている人が一番多かったのは「自分の経済力」で35%でした。有利と感じている人が9%と少なく、最もスコア差が大きな項目となりました。【図6】

【図6】



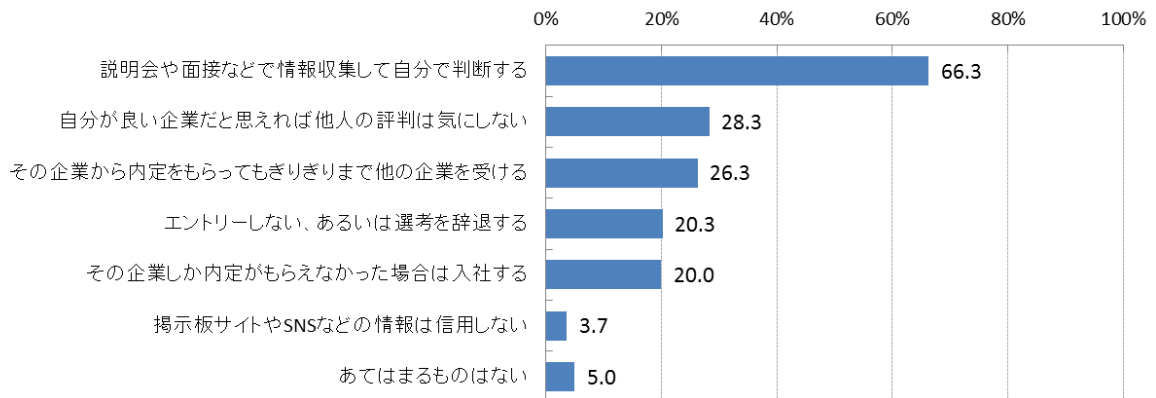
■ ネット上の“ブラック企業”の噂、「説明会や面接などで情報収集して自己判断」が66%

自分の興味のある企業がネットで“ブラック企業”と書かれていた場合にどうすると思うかを尋ねたところ、最も多かったのは「説明会や面接などで情報収集して自分で判断する」で66%でした。次いで「自分が良い企業だと思えば他人の評価は気にしない」が28%など、自分の目で判断するという人が多いようです。

一方で「その企業から内定をもらってもぎりぎりまで他の企業を受ける」(26%)といった保険を確保しようという人や、「エントリーしない、あるいは選考を辞退する」(20%)と完全に避けようとする人も一定数いるようです。【図7】

【図7】

“ブラック企業”対策 (n=300)
Q.あなたが興味のある企業やエントリーしている企業が掲示板サイトやSNSなどで“ブラック企業”と書かれていた場合、あなたはどのように思いますか？
あてはまるものをすべてお答えください。(複数回答)



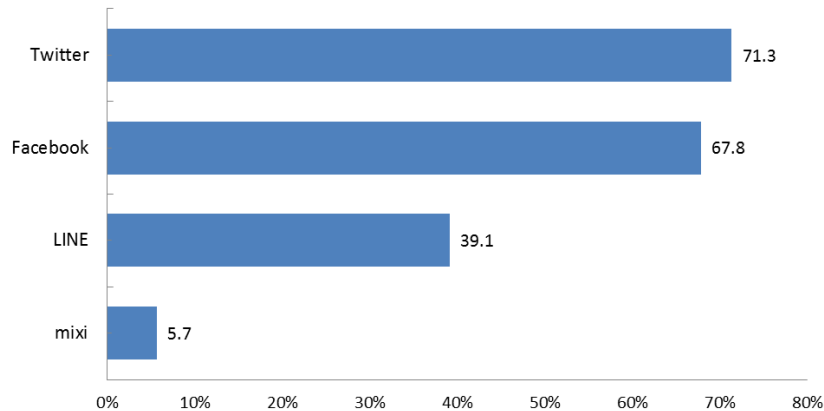
■ 就活でソーシャルメディアを活用しているのは29%。

利用している1位は「twittr」、2位は「Facebook」、3位は「LINE」

就職活動でFacebook、Twitter、LINEなどのソーシャルメディアを活用しているかを尋ねたところ、29%が「活用している」と回答しました。その人たちに、どのソーシャルメディアを活用しているかを聞くと、最も多かったのは「Twitter」で71%、次いで「Facebook」68%、「LINE」39%という結果でした。【図8】

【図8】

就職活動に活用しているSNS (n=87)
 Q. あなたが就職活動に活用しているソーシャルメディアは何ですか。
 (ベース: 就職活動にソーシャルメディアを「活用している」と答えた87人/複数回答)



— 調査結果の引用・転載、取材等に関するお問い合わせ先 —

株式会社マクロミル 広報室 : 大石

TEL : 03-6716-0707 MAIL: press@macromill.com

URL : <http://www.macromill.com/>